

商店街の中心に共同駐車場を設置：イベントで賑わいを！

海老名商工会議所

機関名	海老名商工会議所			
所在地	神奈川県海老名市上郷485-2			
電話番号	046-231-5865			
地域概要	(1)管内人口 11万9千人 (平成13年12月現在)	(2)管内商店街数	18商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数	2商店街	(2)会員数	110商店
	(3)空店舗率	0%	(4)大型店空き店舗数	0店
商店街の種類	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街			

【事業名と実施年度】

平成13年度 駐車場対策事業 共同駐車場の運営、各種イベントの実施
 総事業費 22,824千円

【事業実施内容】

1. 背景

海老名市は神奈川県中部に位置し、小田急線で新宿から47分（急行利用）、相模鉄道で横浜から31分（急行利用）と、2つの大都市圏へ通勤可能なベッドタウン。小田急鉄道、相模鉄道のほかにJR相模線も乗り入れ、また東名高速道路のインターチェンジにも近く、国道などの幹線道路も整備されるなど、とにかく交通の便に恵まれている。



海老名市中心部

こうした環境下にあって、中心市街地には、様々な都市機能が集積し、新たな経済活動等を生み出す場として、また、地域コミュニティの中心として重要な役割を担ってきた。

このような主要施設が集まる中心市街地は「街の顔」である。しかし、海老名市においては、「へそのない街」と言われるように、「街の顔」が見えない都市形成がされてきた。「街の顔」を鮮明に打ち出すことは、市民・企業・行政等すべての人が望むところである。そのために海老名商工会議所では「海老名市中心市街地活性化基本計画」をベースに「TMO構想」を策定し、「TMO計画」の策定に向け研究を進めているところである。

その一環として、今回「共同駐車場整備事業」およびその駐車場を利用する消費者に、魅力ある商店街を理解してもらうための「イベント広場」を開設することにした。

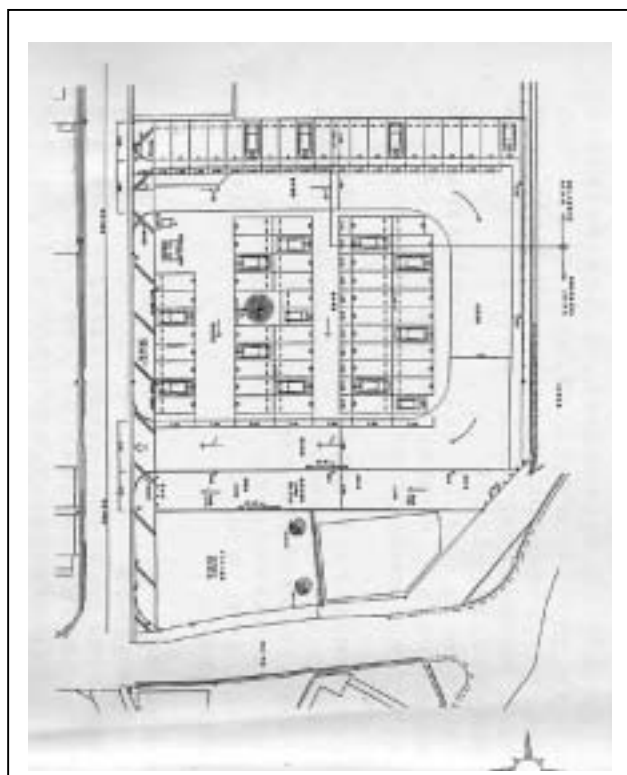
モータリゼーションの進展により、ほとんどの人々が自家用車を所有し、生活の手段とな

った今日、公共交通機関の利用を前提とした中心市街地は、狭い幅員の道路、駐車場の未整備など、車社会に適応した構造にはなっていない。今回商店街に不足している駐車場を整備することにより、街の賑わいにどのような影響が現れるか、また、購買力に繋がるか、TMO計画の方針づくりの基礎資料とすることを主目的として、「共同駐車場整備事業」を実施するものであった。

2. 事業内容

(1) 共同駐車場整備事業

商店街の共同利用に供する駐車スペースを70台分用意し、一部の企業送迎用バスパーを設置し、併用利用が可能な配置とした。このため、進入路については、若干一般駐車場より、幅員を広く確保し、ゆとりのある市道確保を試みた。また、夜間でも女性が安心して、利用しやすい駐車場とするため、街路灯6基の配置を盛り込んだ。そして、まちのトイレの必要性についての検証として、仮設トイレの設置をし、駐車場利用者や商店街での買い物客への反応を見ることとした。



左が今回の事業対象となった共同駐車場。駐車スペース70台。図の下のほうにイベント広場がある。上は、TMOで計画されているもうひとつの駐車場。140台の駐車スペースと企業バスターミナル、さらにモールなどが一体になったコミュニケーション広場となっている。今回の事業は、上記計画の試験的な意味合いも持っている。

(2) ウィンターイルミネーション

商店街の中心に設置された共同駐車場の一つのシンボルとして、高さ15メートルの「メタセコイヤ」を植樹し、その高木に一万個の豆球を施し、冬の風物詩と位置づけ、賑わいの創出を図った。イルミネーションの点灯は、平成13年12月17日から平成14年1月31日まで。その間に、駐車場利用者や商店街での買い物客に対し、サービス事業を実施した。

(3) えびな・彩フェスティバル 2002

中心市街地を活性化し、中小商業の振興と地域経済の活力増進と海老名市固有のイベントを創造するための事業を試みた。平成 14 年 3 月 24 日(日)に開催し、よさこい踊りや、ささら踊り、おわら節、東柏太鼓等の演舞を披露した。

【 効 果 】

(1) 共同駐車場整備事業

地域商店街において、今まで駐車場施設は無かったが、この共同駐車場を設置することにより、安心してゆったりと買い物が出来、集客を図ることが出来た。また、以前は買い物客による路上駐車が見られ、交通渋滞の一因にもなっていたが、この共同駐車場設置により、交通渋滞も大分解消された。

(2) ウィンターイルミネーション

12月17日に点灯し、12月19日までの3日間地元商店街が共同駐車場に出て、豚汁や甘酒等のサービスを無料にて行った。無料にてサービス事業を展開し、それに合わせて各個店のチラシ等を配布しPR事業を行った。これにより、地域商店街の認知度が図られた。

(3) えびな彩フェスティバル 2002

来客状況について、約1万人の方が来客した。

売上については、地元商店街にて各自店を開け、沿道にて独自のサービスを行い、個店の売上増に繋がった。

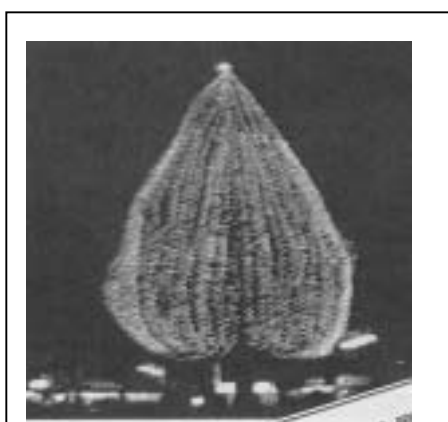
【 課 題 ・ 反 省 点 】

ソフト事業について、ウィンターイルミネーション・えびな彩フェスティバル 2002 を地元商店街を中心に中小商業の活力増進を目的に実施したが、集客・売上の増は図られたが、実施する以前に考えていた程の効果は上がらなかった。今後の課題として、どうやって人を共同駐車場、地元商店街に回遊させるかが課題となってくる。

【 関 連 U R L 】

海老名商工会議所
海老名市

<http://www.ecci.or.jp/>
<http://www.city.ebina.kanagawa.jp/>



共同駐車場のシンボルとして植えられたメタセコイアの木がイルミネーションで飾られた。平成 12 年 12 月 17 日～平成 13 年 1 月 31 日間で、豚汁や甘酒のサービスもあって、来街者に喜ばれた。



海老名市のダンスフェスティバルは街を上げてのビッグイベント。関東エリアを中心に、主だったダンスチームが勢ぞろいした。参加団体は30団体、約1,000人に、見物客は約10,000人と推定された。開催は平成14年3月24日。